

釧路総合振興局記者クラブ配付資料

報道発表資料の配付日時 平成31年3月1日（金）16:00

発表項目	レジオネラ症患者の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時) 月 日 () 時 分	発表者	
		発表場所	
概要	<p>1 公表の目的 個人情報保護に留意しながら、感染症の予防のために必要な情報を公表することにより、感染症による被害の拡大及びまん延の防止を図るとともに、広く道民に注意を喚起し、もって道民の健康を保護することを目的に報道発表を行います。</p> <p>2 概要 平成31年第3～5週(1月14(月)～2月3日(日))に、釧路保健所管内の介護保険施設において、レジオネラ症患者3名が発生しましたのでお知らせします。</p> <p>3 公表原稿 別添のとおり</p>		
参考 ※発表のポイントやねらい、経緯等	<p>レジオネラ症の感染予防 レジオネラ属菌は、浴槽や加湿器など水を使用する設備に付く生物膜(細菌で形成される「ぬめり」)内で繁殖します。 浴槽や配管、循環ろ過装置、加湿器のタンク内等に「ぬめり」が付かないようにこまめに洗浄して、もし発生したら除去することが大切です。 特に、高齢者や免疫機能が低下している方は、レジオネラ属菌による肺炎を起こす危険性が高まりますので、注意が必要です。</p> <p>【浴室】 浴槽のお湯は適宜取り換え、適宜清掃を行い常に清潔を保ちましょう。また、浴槽に入る前には、体の汚れを落として入るようにしましょう。</p> <p>【加湿器】 取扱説明書をよく読み、各部品の定期的な清掃・洗浄を行い、「ぬめり」が付かないよう注意しましょう。水は毎日入れ替えましょう。使用しない間は、タンクの水を抜いて乾燥させ清潔にしておきましょう。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段のご配慮をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)	北海道保健福祉部健康安全局地域保健課において、16時00分に道政記者クラブに同時発表しています。
担当 (連絡先)	この発表についてのお問い合わせは、 北海道釧路総合振興局保健環境部保健行政室 TEL 0154-65-5823 (北海道釧路保健所)健康推進課長 までお願いします。		

レジオネラ症患者の発生について

平成31年3月1日（金） 16:00

北海道釧路保健所
（北海道釧路総合振興局保健環境部保健行政室）
TEL 0154-65-5823 FAX 0154-65-5352

平成31年第3～5週（1月14（月）～2月3日（日））に釧路保健所管内の介護保険施設において、レジオネラ症患者3名が発生したのでお知らせします。

記

1 探知

平成31年1月17日（木）に、釧路保健所管内の医療機関からレジオネラ症患者1名、また、1月28日（月）に、医療機関から2名のレジオネラ症患者が発生した旨、届出があった。

2 発生の概要

- ① 釧路保健所管内の介護保険施設に入所している男性（90歳代）1名が、1月16日（水）から咳、発熱症状を呈し管内の医療機関を受診、レジオネラ症と診断され、入院、治療を受けた。
- ② 同一施設に入所している男性（90歳代）1名及び女性（80歳代）1名が、1月25日（金）から26日（土）にかけて発熱症状を呈し、1月28日（月）に管内の医療機関を受診、レジオネラ症と診断され、入院、治療を受けた。

3 対応

釧路保健所は、当該施設的环境・疫学調査を実施し、利用者及び職員の健康状態等を確認するとともに、施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導した。

また、感染源特定のため、当該施設内の浴室、浴槽、加湿器、給水及び空調設備等から検体採取を行った。

4 現在の状況

①の患者は1月21日（月）にレジオネラ肺炎で死亡した。

②の患者について、男性（90歳代）1名は回復し2月15日（金）に退院。女性（80歳代）1名は入院継続中であるが、快方に向かっている。（施設において、新たな患者は発生していない。）

5 検査結果

道立衛生研究所で実施した検査において、患者1名の喀痰検体及び患者が利用していた居室の加湿器から、同一遺伝子型のレジオネラ属菌が検出された。（2月27日（水）結果判明）

6 感染源

上記検査結果及び、患者3名が長期にわたって当該施設に入所していたこと等から、当該施設を感染源とした集団感染の可能性が高いと考えられる。

7 その他

この件については、本日16時00分、北海道保健福祉部健康安全局地域保健課においても、資料配付を行っています。

報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

レジオネラ症とは

レジオネラ症は(*Legionella pneumophila*)を代表とするレジオネラ属菌による細菌感染症であるが、肺炎を主徴とする肺炎型と、肺炎がみられないポンティアック熱型がある。免疫不全者の場合には、肺炎の劇症化と多臓器不全が起こることがある。レジオネラ属菌は土壌細菌であり、土壌、河川、湖などの自然環境に広く存在する。ヒトの生活環境の中でも給水、給湯系、浴槽およびその関連設備などに定着し、感染源となりうる。ヒトからヒトへの伝播はない。

主 症 状：レジオネラ肺炎（全身倦怠感、頭痛、筋肉痛、咳、高熱、悪寒、下痢等）

潜 伏 期 間：2～10日間

【道内におけるレジオネラ症患者発生状況 平成31年2月17日（日）現在】 (人)

年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
北海道	21	39	33	29	39	41	44	37	8
全 国	818	899	1,124	1,248	1,592	1,602	1,733	2,130	189

*政令市（札幌市を除く）保健所分を含む。

*発生数については北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。

(<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)